

鳥沢小学校コミュニティスクールの活動

①基本的な考え方

令和6年度から鳥沢小学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティスクール（CS）としてスタートした。鳥沢小学校では、今までも地域と連携した活動を行ってきており、基本的にはそれをCS活動につなげていく。

CSの意義としては次の4点が挙げられる。

地域とともにある学校



地域の思いから、学校が変わる、変えられること

地域に開かれた学校



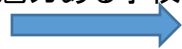
多くの方が関わることで、学校や子ども、教育活動が見えるようになること

郷土を愛する心



地域の活性化とともに地元への愛着が増すこと

魅力ある学校づくり



地域が学校づくりに関わることで、地域の子どもの通わせたいと思えること

これらを念頭に置き、鳥沢小学校にとって最適なCSのあり方、そして持続できるような仕組みを構築し運用していきたい。

これまでも行われてきた多くの活動を継続し、地域とともにある学校をさらに進め、地域の財産である地域人材や素材を主として活用し、「地域とともにある学校」「地域に開かれた学校」をさらに推進させ、児童に「郷土を愛する心」を育み、「魅力ある学校づくり」を目指す中で学校、保護者、地域との適切な役割分担について考察しつつ、学校運営協議会の委員を中心にし、地域の方々にご協力いただき、本校の実態や特性にあった活動を行っていきたい。

②年間活動計画

学習支援にかかわること

1・2年読み聞かせ活動（地域住民）年間6回

2年町探検（地域住民）年2回

3年豆腐作り（地域住民）10月

4年小篠貯水池の見学（地域住民）10月

5年米作り（大月エコの里、地域住民）4月～10月

* 苗づくり、田植え、稲刈り、脱穀、田おこし

5年注連縄作り（地域住民）12月17日

6年扇山森林学習（扇山管理委員会）森林教室7月3日、本箱づくり11月18日

福祉講話（地域住民）2学期

サマースクール（教職員OB）7月22日～28日 5回 楽習サロン（教職員OB）5月～10月 年間10回
安全支援にかかわること
1年交通安全教室（大月警察署）4月17日 2年交通安全教室（大月自動車学校）4月21日 通学路点検（PTA）6月～7月 学校保健委員会学習会（校医）10月29日 防犯教室（大月警察署）1月19日
環境整備の支援にかかわること
環境美化作業（PTA）6月13日 9月12日 ビオトープ保存会作業（ビオトープ保存会）3月6日 グラウンド整備・草刈りなど環境整備（地域住民）随時
その他 地域と連携して実施すること
公民館まつりへの作品出品（富浜公民館）11月14・15日 こども園との交流会（鳥沢こども園）2月25日

③その他の取り組み

CS（コミュニティ・スクール）を今後も継続・発展させていくためには地域の方々の理解と協力が不可欠であり、「地域の学校に貢献したい」という地域住民を増やすためには、学校の活動を知ってもらうことが大切である。また、子どもたちがふるさとを愛する気持ちを持ち、将来にわたって地域を構築するために郷土愛を育むことも必要になってくる。そこで、本校ではCSとして以下のような取り組みも行う。

①情報発信：ブログ等を活用した学校の様子の発信を今後も力を入れていく

→校長が更新しているブログを見ていただけるような広報活動も含める。

②地域住民との交流や児童と教職員を知ってもらう

→教頭が中心となって地域の方々とのコミュニケーションを頻繁に行う

③学校開放日を設け、開かれた学校づくりに努める。

→地域の方に活動の様子を見てもらう機会を増やす、いつでも参観できる体制を整える。

④大月市の推進する「ふるさと教育」や道德の時間を使って子どもたちの「郷土を愛する心」を育てる

学校は、地域のコミュニティにとって中心的な役割を持っている。少子化と言われる昨今であるが、「魅力ある学校には人が集まる」ことを信念として、今後も地域とともにある学校づくりを進めたい。